

クールフォーム

不燃材料 NM-2132
F☆☆☆☆ 0906007リサイクル材を使用した
有機無機ハイブリッド型の新しい不燃断熱材です。

ECO HYBRID

特長 無機と有機材料の複合で、熱伝導率が低く、不燃の断熱材を実現**長所** 燃えない(不燃性)

不燃認定(NM-2132)取得

無機質系結合材
(セメント系)

HYBRID

クール
フォーム有機質系骨材
(再生スチレンフォーム)**長所** 熱伝導率が低い、軽量高い断熱性
(熱伝導率0.044W/m・k)

クールフォームは、ハイブリッド化により断熱性能が高く、不燃認定も取得しています。

安全 施工中・施工後も安心・安全です

【主な断熱材の種類】

分類	種類	長所	注意点
鉱物系断熱材 (無機質)	ロックウール グラスウール アスベスト	不燃性 低コスト	人体への影響が問題視されている
プラスチック系断熱材 (有機質)	ビーズ法ポリスチレンフォーム 押出法ポリスチレンフォーム 硬質ウレタンフォーム	軽量 施工が簡便	火災発生時に 爆燃現象・有毒ガス発生のある恐れがある



プラスチック系断熱材について

プラスチック系断熱材は利便性から広く使われています。しかし、火災時の延焼拡大が速く、爆燃現象や有毒ガスが発生し危険が伴う可能性があります。「難燃」等を表示している断熱材も急激な温度上昇時には同様の恐れがあります。

A

不燃の断熱材なら

工事中の溶接・溶断の火花でも着火しません。また、建設後の火災発生の際にも延焼させず、避難可能時間が長くなります。

安全な避難環境や消火活動に役立ちます。



全国消防長会

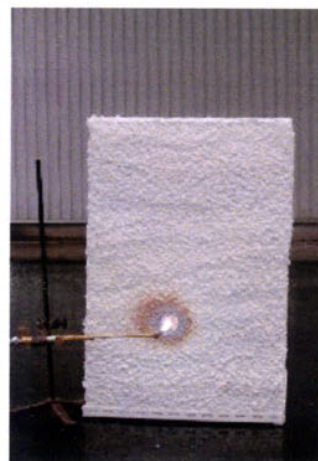
国民の生命、身体及び財産を火災から保護するため消防対策の徹底を勧める機関。

近年の可燃性合成樹脂発泡体を用いた断熱材が使用された建物の火災被害に対する対策の一つに不燃断熱材の使用を推奨しています。

【燃焼比較試験】



ウレタンフォーム(30秒間)



クールフォーム(5分間)

クールフォームは、鉱物系繊維を使用せず、火災時も燃えないので建物を建てる人にも使う人にも安全です。

環境配慮 環境負荷の少ない商品設計です。

クールフォームの骨材に使用している再生スチレンフォームは、発泡スチロールのリサイクル品です。

【数値からみる環境負荷度合い】

クールフォーム	地球温暖化係数(GWP)	0
	オゾン層破壊係数(ODP)	0



グリーン購入法適合品

国などの公的機関が率先して環境物品等の調達を推進するための法律

【判断の基準】

●建築物の外壁等を通しての熱の損失を防止するものであって、次の要件を満たすものとする。

- ①オゾン層を破壊する物質が使用されていないこと。
- ②ハイドロフルオロカーボン(いわゆる代替フロン)が使用されていないこと。
- ③再生資源を使用しているまたは使用後に再生資源として使用できること。

【配慮事項】

●発泡プラスチック断熱材については、長期的に断熱性能を保持しつつ可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること。

